

5 けんり春闘中央行動 4 銀座デモでアピール!

けんり春闘は4月5日(金)夕方5時経団連前に集合、各地の全労協も参加して、「8時間働いたら暮らせる社会を!大幅賃上げ勝ち取るう!」原発再稼働やメロ!外国人労働者の権利を守れ!の横断幕を掲げ、経団連前集会を実施、各地から参加の仲間からのアピールが続いた。

その後、日比谷図書館コンベンションホールで中央総決起集会を開催、銀座デモで街ゆく人にアピールを行った。

集会では共謀罪を先取りした組合活動弾圧を受けている全日建連帯労組からの報告を始め各組合から闘いの報告があった。

中小ネットとして登壇した神奈川シティユニオンのメンバーが力強い歌を披露した。女性委員会からは、4月12日からハラスメント関連法の審議が始まることを報告した。

集会後は銀座デモでアピールやシユプレコールで全ての労働者に生活できる賃金を!、過労死促進の働き方改革反対!消費税引き上げ反対!辺野古新基地建設反対!原発再稼働を許さない!9条改憲を許さないぞ!と訴えた。

(Y)



けんり春闘総行動に静岡の仲間も参加(4月5日) = 写真(内田正)

福島原発事故から8年、再稼働を止めよう!

3月16日(土)福島集会有り、全労協はバス1台で参加。700人規模の会場だったが、第二会場も設営された。

3月21日は代々木公園で「さようなら原発全国集会」。去年は大雪だったが、今年は春の嵐の強風で空が土埃で黄色になる中で、李政美さんの歌に続いて集会が始まった。鎌田慧さんの開会挨拶、東海村村議の阿部功志さんが40年超えの東海第一原発の運転延長の問題、福島原発告訴団の人見やよいさんが原発事故はずっと続いていると訴え、沖縄問題のアピールもあった。集会後に全労協は外苑前までのデモに参加し、シユプレコールで表参道の多くの人々に脱原発を訴えた。



女性活躍推進法改定、 ハラスメント関連法 12日から国会審議始まる

~実効あるハラスメント禁止を求めよう~

昨年に続き6月ILOで「仕事の場における暴力とハラスメントの基準」が討議され、条約を勧告が採択される。そんな中3月8日に閣議決定された法案は、セクシャルハラスメントと同様事業主に対する防止の措置義務を義務づけた。

昨年の財務事務次官のセクハラ事件、「セクハラ罪という罪はない」との大臣発言からも全てのハラスメントの禁止が必要なことは明らかだ。

4月下旬と言われていた審議が12日の本会議を皮切りに衆議院厚労委員会で始まる。

法案は「ハラスメントは許されない」とするものの禁止が明確でなく、対象範囲も狭い。4月15日夕方にはマスコミ関連労組(MIC)は院内集会を開催する(衆1大会議室で17時半~)。

また雇用共同アクションも16日昼の院内集会(参、101号会議室で11時半~)、厚労委員会が開催される17、19、24日の昼に衆議院第二議員会館前で国会行動を予定している。国会審議の中で一歩でも前進するよう関心を寄せ、行動に参加していこう。

「ユナイテッド航空解雇裁判で東京地裁不当判決!!・控訴へ」

全国一般・全労働者組合FAユナイテッド闘争団が闘う裁判の地裁判決が3月28日に言い渡された。原告の請求がすべて棄却される不当判決だった。

組合と原告は、日本の労働法に違反した解雇権の濫用による解雇で、その背景は「組合嫌悪」に基づくものであるとして雇用継続を求め争ってきた。春名茂裁判長と石川真紀子裁判官は、ニタニタと薄ら笑いを浮かべながら入廷し、裁判長が「原告らの請求をいずれも棄却する」と読み上げ、判決理由を述べることなく逃げるように退場した。傍聴席からは「不当判決だ!」と怒りの声が次々と起きました。

その後、地裁正門前で裁判所に対し抗議の「不当判決糾弾!」のシユプレコールをあげました。日比谷図書館小ホールで報告集会を行い、原告から「高裁に控訴し、不当解雇撤回と原職復帰を果たすまで断固闘う」という決意を述べました。(ユナイテッド闘争団HPより)



全国一般東京東部労組メトロコマース支部の判決については次号に報告します。

「女性の権利を国際基準に！」

3月5日「女性の権利を国際基準に！」と女性差別撤廃条約実現アクション発足

女性委員会も参加団体となった「女性差別撤廃条約実現アクション」のキックオフ集会在3月5日衆議院第2議員会館で開催された。



3月5日「女性差別撤廃条約実現アクション」のキックオフ集會を開催

昨年10月女性差別撤廃委員会のシユルツ委員の講演会時の呼び掛けが結実したものだ。集會はアクションの共同代表の一人である柚木さんが挨拶、ついで、できたてほやほやのリーフレット「選択議定書 批准しないと始まらない！」を基に国際女性の地位協会会長の山下泰子さんが講演。選択議定書（OPP）には個人通報制度と調査制度の2つの制度がある。個人通報制度は、国内で差別是正を求めて最高裁まで闘っても差別が是正されない（女性差別裁判や選択的夫婦別姓制度など）ケースで個人や団体が女性差別撤廃委員会（CEDAW）に直接通報して救済を求める



私のお気に入り

辺野古新基地建設反対闘争にはいつも歌がある。安和やキャンプシュワブ前へのバスの中で教えてもらった歌が、今のお気に入りだ。さあ、ごいっしょに！！
替え歌 **どうにも止まらない**
(辺野古バージョン)

- 1、噂は全くそのとおり
おいらの狙いは九条さ
いつでも戦のできる国
それがおいらの夢なのさ
アメリカの尻にひっついて
今日は東に明日は西
世界の果てまでついて行く
それが集団自衛権
あ～憲法は変えればいいさ
お友達で決めればOKさ
魔法の言葉解釈改憲
もうどうにも止まらない

自由にお使いくださいな
お金もたくさんつけましょ
きれいな海もなんのその
戦の犠牲を顧みず
われらの誇りも傷つけて
どこが寄り添う心だよ
くりかえし

- 3、安倍政権の暴走を
見て見ぬふりは罪なのよ
いまこそ皆で立ち上がろう
全国各地で声あげよ
憲法改悪許さんぞ
原発再稼働阻止するぞ
新基地建設阻止しよう
会をみんなで包囲しよう
あ～憲法は皆のものさ
日本の誇り9条なのさ
安倍政権を打倒するぞ
もう怒りが止まらない

(ス労・たけうち)



JAL争議解決にむけ行動再開！
3月9日夕 羽田でのアピール行動に200人弱が集結



【写真・左】3・16 辺野古と連帯する官邸前アクションで連帯挨拶する寺嶋東京全労協事務局長

ことができる制度だ。4月5日現在111カ国が批准している。女性差別撤廃条約ができてから今年で40年、条約をパワーアップするための選択議定書ができて20年になる。

参加議員の発言も熱がこもり、富山から参加した東和工業事件（最高裁で上告棄却）の本間さんはOPPを批准して是非CEDAWに訴えたいと決意表明。シユルツ委員は「選択議定書の批准は司法を強化し、女性に対する差別の理解を助ける」と批

准の意義を伝えてくれたが、是非実現して個人通報制度を手に入れ、ジェンダー平等度110位からの脱却を図ろう！ 院内集會には議員28名、秘書20名、報道関係の参加も多かった。実現アクションでは今選択議定書の批准を求める請願署名を実施中。多くの組合で取組みを！